Outline of JPEC 要覧

ー薬剤師のたゆまぬ資質向上のためにー

For Continuing Professional Development

公益財団法人　日本薬剤師研修センター

Japan Pharmacists Education Center

www.jpec.or.jp

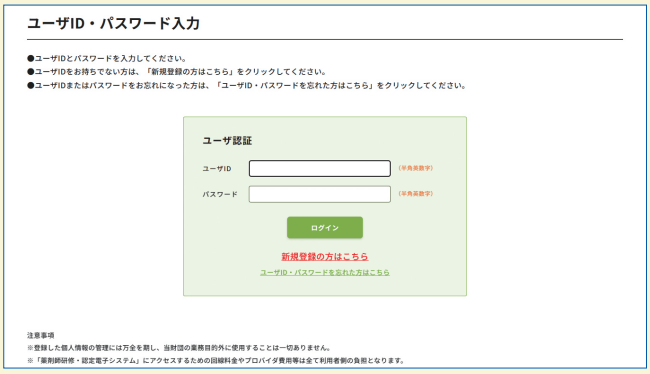
JPECの生い立ちと活動

日本薬剤師研修センターは、優れた薬学的ケアを実行できる薬剤師を求める社会的要請に応えるために、薬剤師の生涯学習を支援し推進することにより、国民の健康確保に寄与することを目的として、平成元（1989）年、当時の厚生省薬務局の認可により財団法人として設立されました。その後、平成 24（2012）年 4 月 1 日に、公益財団法人に移行しています。
あらゆる職域において、薬剤師が自らの資質向上のために生涯を通じて常に新しい知識と技能を習得し、業務の充実に努めることができるように、研修認定薬剤師の認定、各種研修会開催等の事業を行っています。

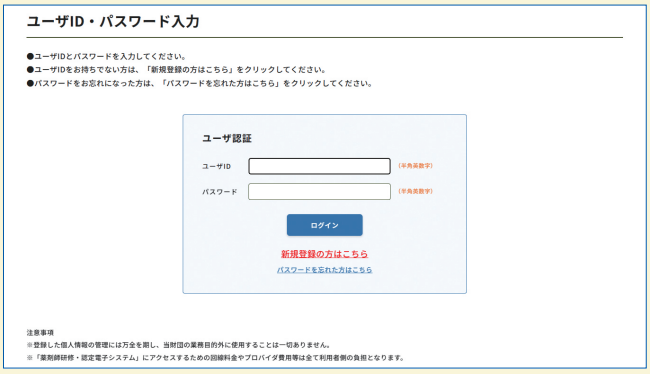
平成元年 6 月	日本薬剤師研修センター設立（会長：石館守三、理事長：村田敏郎）
平成元年10月	薬局・病院薬剤師医薬分業指導者研修事業開始
平成元年12月	都道府県薬剤師研修協議会設置
平成 6 年 4 月	研修認定薬剤師制度発足
平成 7 年 4 月	会長：村田敏郎、理事長：内山 充
平成 8 年 6 月	薬剤師生涯研修の指標項目作成
平成 9 年 4 月	薬剤師実務研修事業開始（現在、終了）
平成10年 4 月	CRC 養成研修事業開始（現在、終了）
平成11年10月	衛星放送（CSTV）による集合研修開始（現在、終了）
平成12年 4 月	漢方薬・生薬認定薬剤師制度発足
平成15年 5 月	ビデオ（DVD）による集合研修開始（現在、終了）
平成16年 6 月	理事長：井村伸正
平成17年 4 月	認定実務実習指導薬剤師養成事業開始
平成19年 4 月	薬剤師研修支援システム稼働、新カリキュラム対応（6 年制対応）研修開始（現在、終了）
平成21年 8 月	Web テストシステム開始（現在、終了）
平成22年12月	m−ラーニング開始（平成 24 年 4 月から e−ラーニングとして実施）
平成23年 4 月	会長：井村伸正、理事長：豊島　聰
平成24年 4 月	公益財団法人となる、代表理事（理事長）：豊島　聰
同　　月	小児薬物療法認定薬剤師制度発足
平成28年 7 月	薬剤師生涯学習達成度確認試験開始（以降、毎年 1 回実施）
平成31年 3 月	三十年誌発刊
令和 4 年 4 月	薬剤師研修・認定電子システム全面稼働
同　　月	認定実務実習指導薬剤師認定事業　一般社団法人薬学教育協議会移管
令和 5 年 6 月	代表理事（理事長）：矢守隆夫

薬剤師研修・認定電子システム（通称：PECS）

当財団が運用する「研修認定薬剤師制度」、「漢方薬・生薬認定薬剤師制度」および「小児薬物療法認定薬剤師制度」の認定情報や、当財団主催研修会、当財団に許可された研修実施機関が主催する研修会に参加して取得した単位、また、各認定制度に基づいて取得した自己研修等による単位を一元的・電子的に管理するシステムです。
令和 6 年 9 月末現在で約 19 万人の薬剤師が本システムに登録し、約 1,000 の団体等が研修実施機関として登録されています。



薬剤師個人ログイン画面
https://pecs.jpec.or.jp/_/pharmacist/



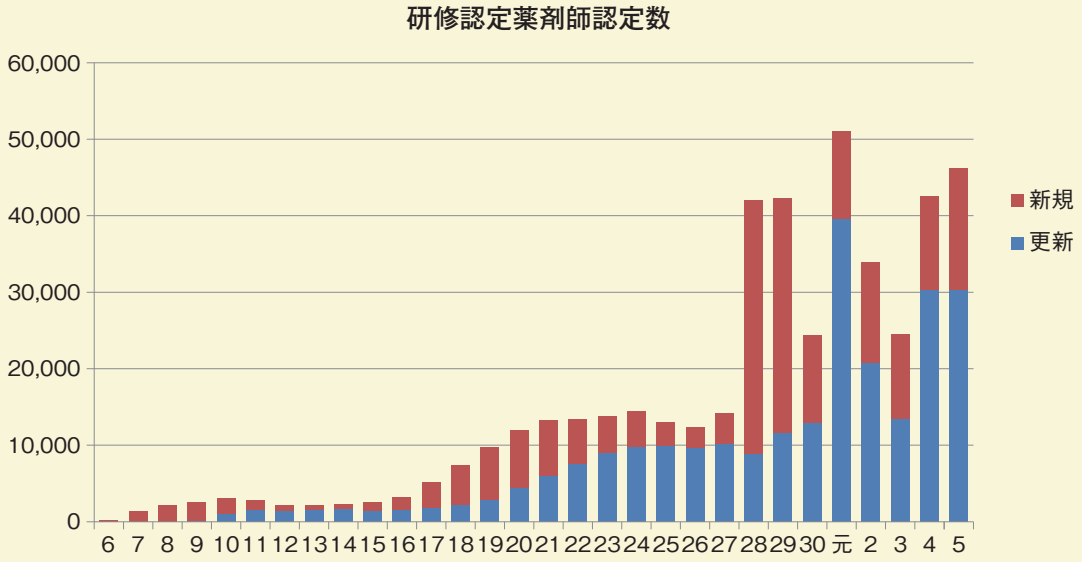
実施機関ログイン画面
https://pecs.jpec.or.jp/_/instadmin/

都道府県薬剤師研修協議会

全国の薬剤師のための研修会が円滑に行われ、個々の薬剤師に研修の機会が適切に提供できるよう、都道府県薬剤師会、都道府県病院薬剤師会の協力を得て、都道府県ごとに薬局、病院、薬系大学、製薬企業、卸企業などに勤務する薬剤師で構成される「薬剤師研修協議会」が当財団のパートナーとして設置されています。

研修認定薬剤師制度

薬学関係及び薬剤師関連職域の学識経験者からなる「研修認定制度委員会」の意見に基づいて、研修認定薬剤師制度を運営しています。
研修認定薬剤師制度は、特に分野を特定せず、全職域の薬剤師の方々が自らの責任で、薬剤師免許を持つにふさわしい資質を維持するための生涯研修をバックアップし、その成果を認定するもので、平成６年４月にスタートしました。
令和６（2024）年９月末現在の研修認定薬剤師は、116,548 名です。



研修実施機関

当財団は、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、薬系大学、日本薬学会などの薬学関係団体と協力して、医学・薬学の進歩に合わせた質の高い研修を薬剤師の皆様に提供します。
当財団が定める基準に適合する機関（団体）は、「研修実施機関」として登録され、当該機関（団体）（下表）が実施する研修会において、研修センターの単位が交付されます。

研修実施機関分類	団体数
国・地方自治体	3
独立行政法人・地方独立行政法人	1
個別法律設立法人	1
大学薬学部・薬科大学	51
法人附属等医療機関・研究所	19
学会（学会名鑑掲載）	23
社団・財団・特定非営利活動法人	410
協同組合	10
任意団体	474
e ラーニング実施機関	7
合　計	999

令和６年９月末現在

研修認定薬剤師の新規認定取得まで

研修認定薬剤師になるには、薬剤師研修・認定電子システム（PECS）に個人情報を登録し、各種研修により単位を取得して、当財団に申請します。

① 薬剤師研修・認定電子システム（PECS）に個人情報を登録

② 単位の取得

研修会への参加や自己研修等によって単位を取得します。当財団主催研修会や当財団に登録された研修実施機関の研修会で取得した単位、また PECS を通して取得した自己研修等による単位は PECS にて管理されます。
一方、令和 4 年 3 月 31 日までの研修会による単位や薬剤師認定制度認証機構が認証している団体が交付する単位（申請に算入できるのは 20 単位まで）は PECS には反映されないため、「研修受講シール整理表」（当財団ホームページからダウンロード可能）にて単位（シール）等を管理しておく必要があります。

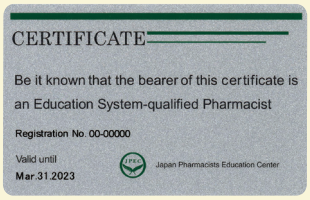
③ 研修認定薬剤師の申請

認定申請日から遡って 4 年以内に 40 単位以上取得していることが必要です。申請に必要な単位が確認できたら PECS より申請します。令和 4 年 3 月 31 日以前の単位や薬剤師認定制度認証機構が認証している団体の単位がある場合は、申請後、それらを当財団に送付します。

④ 当財団において審査、研修認定薬剤師として登録

⑤ 認定薬剤師証の交付

研修認定薬剤師として認定されると、「認定薬剤師証」が交付されます。また、ID カードを申込むと、顔写真入りのカードを作成し、送付します。



ID カード

単位を取得するには

単位を取得するには

研修会（当財団主催または当財団に登録された研修実施機関による研修会）に出席する

（1）集合研修（座学・ウェブ即時配信・アーカイブ配信）*1
（2）学術集会（座学・ウェブ即時配信）*2
（3）e－ラーニング研修*3

報告書（レポート）等による単位請求

（1）自己研修（教材を利用した個人または複数人による学習会）*4
（2）学術集会等発表 *5
（3）学術雑誌論文掲載 *5

*1　1日につき4単位まで
*2　参加1日につき最大4単位までとし、午前2単位まで、午後2単位まで。また1学術集会につき9単位まで。
*3　1日につき4単位まで（令和7年4月1日から）
*4　1報告書につき1単位とし、年間5単位まで。
*5　当財団が指定したものに限る。1報告書につき1単位とし、年間3単位まで。

3年ごとに研修認定薬剤師の更新

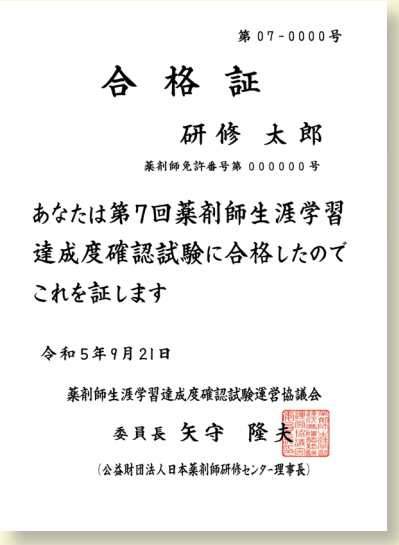
3年ごとに30単位以上かつ毎年5単位以上を取得します。
（薬剤師認定制度認証機構が認証している団体が交付する単位は15単位まで算入することができます。）

当財団主催研修の実施

当財団では、シリーズ化されている「病態・薬理シリーズ」研修のほか、様々な団体のご協力によってe-ラーニングによる研修を実施しています。

薬剤師生涯学習達成度確認試験

薬剤師の生涯学習は、学習結果を自己評価をしながら更に必要な学習に取り組んでいくものです。研修認定薬剤師制度はこのような考え方に基づき構築されています。一方、自己の生涯学習の状況について客観的な評価を受けてみたいと考える方のために、薬剤師生涯学習達成度確認試験を平成 28 年度から実施しています。
この試験は、日本医療薬学会、日本病院薬剤師会、日本薬学会、日本薬剤師会及び日本薬剤師研修センターの５つの団体が共同で実施しており、受験資格は薬剤師免許取得後５年以上であることなどとしています。
実施は年１回（おおむね７月の最終日曜日）、令和６年度の試験は全国７か所で実施しました。
合格者には合格証を交付します。
また、研修認定薬剤師であってこの試験に合格した方には「生涯学習指導薬剤師」の称号を付与しています。


第 07－0000号

合　格　証

研修　太郎

薬剤師免許番号第 000000号

あなたは第7回薬剤師生涯学習達成度確認試験に合格したのでこれを証します

令和５年９月21日

薬剤師生涯学習達成度確認試験運営協議会

委員長 矢守　隆夫

（公益財団法人日本薬剤師研修センター理事長）

JPEC

認定登録第 00-00000 号

認定薬剤師証

生涯学習指導薬剤師

研修　太郎 殿

あなたは薬剤師として研修に励み所定の単位を取得されたので研修認定薬剤師として認定します
併せて、薬剤師生涯学習達成度確認試験の合格を賞し、生涯学習指導薬剤師の称号を授与します

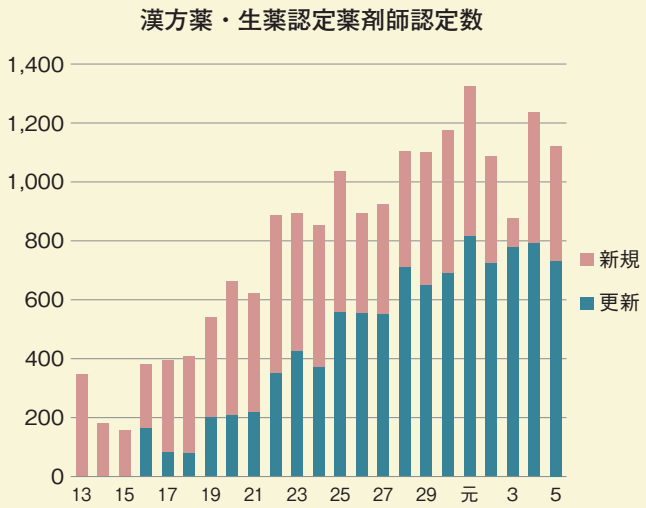
認定期間 2024年1月1日～2026年12月31日（初回認定日 2024年1月1日）

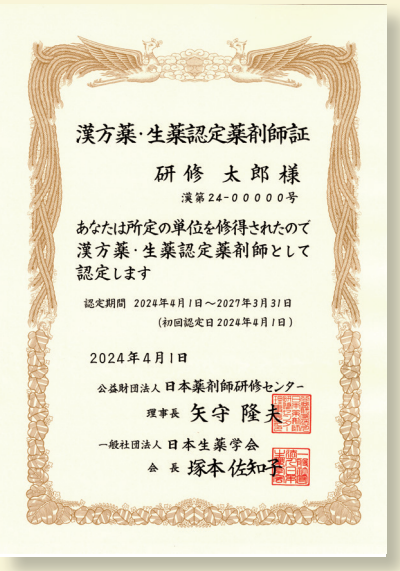
2024年1月1日

公益財団法人　日本薬剤師研修センター
理事長　矢守隆夫

漢方薬・生薬認定薬剤師制度

漢方薬・生薬認定薬剤師制度は、日本薬剤師研修センターと日本生薬学会が共同で運営している認定制度で、平成12年4月にスタートしました。
漢方薬・生薬の基礎的知識と処方調剤からの考え方、品質規格、有毒植物及び漢方薬・生薬原料植物の知識などを集中的に学ぶことにより、漢方薬・生薬に関しての専門性の高い薬剤師の養成を目指します。
講義9回と薬用植物園実習の計10回を1セットとした研修コースを修了し、試験に合格した薬剤師が認定されます。認定期間は3年間で、3年ごとの更新となります。
令和6（2024）年9月末現在の漢方薬・生薬認定薬剤師は、3,506名です。




漢方薬・生薬認定薬剤師証

研修 太郎 様
漢第24-00000号

あなたは所定の単位を修得されたので
漢方薬・生薬認定薬剤師として
認定します

認定期間 2024年4月1日～2027年3月31日
（初回認定日 2024年4月1日）

2024年4月1日

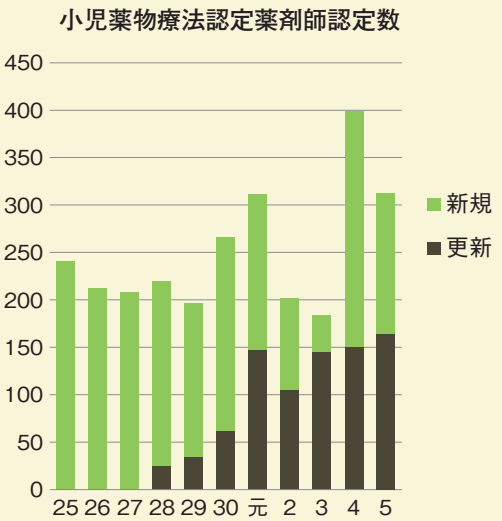
公益財団法人 日本薬剤師研修センター
理事長 矢守 隆夫

一般社団法人 日本生薬学会
会 長 塚本 佐知子

ID カード

小児薬物療法認定薬剤師制度

小児薬物療法認定薬剤師制度は、日本薬剤師研修センターと日本小児臨床薬理学会が共同で運営している認定制度で、平成24年4月にスタートしました。
小児科領域において医薬品に関わる専門的立場から、医療チームの一員として小児薬物療法に参画するための能力と適性を備え、さらに患児とその保護者等に対しても適切な助言及び行動ができる薬剤師の養成を目的としています。
e−ラーニング形式による全40時間程度（原則1コマ60分）の研修を修了し、試験に合格することと、研修受講開始以降試験合格年末日までに日本小児臨床薬理学会に参加し、レポートを提出し、合格評価を得ることにより、認定されます。認定期間は3年間で、3年ごとの更新となります。
令和6（2024）年9月末現在の小児薬物療法認定薬剤師は、994名です。



Japan Society of Developmental Pharmacology and Therapeutics JSDPT Japan
認定登録小児第 23-00000 号
小児薬物療法認定薬剤師証
Certified Pharmacist in Pediatric Pharmacotherapy
研修 太郎 殿
あなたは所定の課程を修了し、試験に合格されたので
小児薬物療法認定薬剤師として認定します
認定期間 2023年7月1日～2026年6月30日
2023年7月1日
日本小児臨床薬理学会
運営委員長 中村秀文
公益財団法人日本薬剤師研修センター
理事長 矢守隆夫
Japan Pharmacists Education Center JPEC Japan
Society of Developmental Pharmacology and Therapeutics

ID カード

事務所案内

November 2024

名　称：公益財団法人　日本薬剤師研修センター
住　所：〒105-0003　東京都港区西新橋２－３－１
マークライト虎ノ門６階
連絡先：電話　代　表　03-6457-9041
ＦＡＸ　03-6457-9040
E-mail：jpec@jpec.or.jp
URL：https: //www.jpec.or.jp/

東京メトロ日比谷線「虎ノ門ヒルズ」駅	徒歩約３分
東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅	徒歩約５分
都営三田線「内幸町」駅	徒歩約５分
JR 各線「新橋」駅	徒歩約８分

賛助会員

日本薬剤師研修センターの趣旨・目的にご賛同いただける個人・企業等に賛助会員としてご協力・ご支援をお願いしております。
当財団への賛助会費（寄付金）は、税額控除の対象です。

賛助会員（個人）	１口 年額	10,000 円
特別賛助会員（企業等）	１口 年額	100,000 円

特典（賛助会員）
1）当財団が発行する「研修センターニュース」の提供
2）当財団が実施する研修会、講習会参加費の割引
3）当財団が編集・出版する各種書籍等の割引

特典（特別賛助会員）
1）当財団が発行する「研修センターニュース」の提供

日本薬剤師研修センターのロゴマークについて

日本薬剤師研修センターのロゴマークは、薬剤師であり、画家の芹川光行氏によって作成された。円は薬剤師の生涯学習が endless であることを表している。円内の羽は、学問、学習を象徴する羽ペンを表している。「ペン」はラテン語の「ペンナ」からきており、薬剤師の飛翔、飛躍を願うものである。

登録商標　第 4805095 号